



北海道医師会館 9階理事会室

第15回常任理事会

日時 令和5年10月10日(火) 18:30～19:06
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本・白崎・村上各常任理事、梶・阿久津両監事、長瀬顧問
 (事務局：三瓶事務局長ほか14名)

協議事項

第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座9件を承認することと決定。

第2号 第5回理事会[10月14日(土)・Web併用]の議案に関する件(目黒常任理事)

10月14日(土)にWeb併用で開催し、理事会終了後に日医・笹本常任理事との医師会組織強化に係る懇談を開催することと決定。

報告事項

1. 全国医師会勤務医部会連絡協議会[10月7日(土)・青森市]について(水谷常任理事)

青森県医師会の担当で、「2024年、変わる勤務医、輝く勤務医」をメインテーマに、集合形式で開催された。日医・松本会長と弘前大学・中路重之学長補佐による特別講演があり、日医・渡辺勤務医委員会委員長による委員会報告と、次期担当医師会である福岡県医師会・蓮澤浩明会長より挨拶が行われた。続いて、三内丸山遺跡センター・岡田康博所長による特別講演のほか、シンポジウムⅠは「第8次医療計画、5疾病6事業について」、シンポジウムⅡは「これから始める『働き方改革』—医師少数県における工夫と苦悩—」をテーマに、4名ずつ演者が講演を行った。最後に「あおり宣言」を採択し、閉会した。参加者は278名であった。

2. 第103回北海道医学大会総会・令和5年度北海道医師会賞贈呈式[10月7日(土)]について

(村上常任理事)

山下敏彦会頭(札幌医科大学学長)のもと、贈呈

式では北海道医師会賞ならびに北海道知事賞として5名が受賞された。その後、会場とZoomウェビナーのWeb併用形式にて、各科トピックス4題の講演が行われ、続いて、社会医療法人警和会理事長/大阪警察病院院長/大阪大学大学院医学系研究科特任教授・澤芳樹先生より「再生医療のNEXT Stage—Unmet needsに対する再生医療の役割—」をテーマに特別講演が行われた。参加者は188名(現地81名、Web107名)であった。

3. 外部各委員会報告

(1) **第3回北海道DMAT等検討ワーキンググループ[10月3日(火)・Web会議]について**

(白崎常任理事)

北海道DMATインストラクターチームの設置について報告後、北海道医療計画素案の災害医療体制に係る修正点について説明があった。委員からは、広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の災害時の対応や、災害医療連携体制図のDMAT派遣などについて修正意見が出た。

第5回理事会

日時 令和5年10月14日(土) 16:00～18:31
場所 北海道医師会館・9階理事会室
出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本・白崎各常任理事、對馬・鈴木・滝山・稲葉各理事、藤瀬・梶両監事、笹本参与、大原副議長、
 (Web参加者) 小西(宏)・小西(勝)・吉田・柴田各理事、阿久津監事、深澤参与、井門議長、佐賀委員
 (事務局：三瓶事務局長ほか14名)

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) **日医理事会報告(松家会長)**

8月の理事会では、令和6年度医療に関する税制要望の件、日本専門医機構第15回理事会の件等の報告、医療機関勤務環境評価センター・医療機関の評価に関する審議の件等について協議した。9月の理事会では、日本専門医機構第16回理事会の件、中医協の件等の報告、2023年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考の件等について協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

(2) **日医各委員会報告**

1) **救急災害医療対策委員会[6月23日(金)・Web併用、9月30日(土)・愛知県]について(目黒常任理事)**

6月の委員会では、ワーキンググループ（1. 日本医師会ACLS研修制度の検討、2. 地域包括ケアシステムにおける救急医療、3. JMATのあり方、4. マスギャザリング災害に備えた医療体制）各座長から前回委員会以降の進捗状況について報告があり、意見交換を行った。9月は愛知県豊川市の視察および豊川市医師会・愛知県医師会との意見交換を伴う移動委員会として開催された。豊川市医師会副会長／医療法人宝美会総合青山病院・小森義之院長から、6月の豪雨における院内の浸水被害状況等について発表後、気象庁から大雨時に段階的に発表される防災気象情報の内容や今回の豪雨で発表された気象情報、国土交通省からハザードマップや避難確保計画の概要ならびに豊川水系河川整備計画等について説明があった。その後、山口芳裕委員長が司会を務め、パネルディスカッションが行われた。

2) 勤務医委員会 [7月14日(金)、9月29日(金)] について (長谷部常任理事)

7月の委員会では、会長諮問に関する意見交換を行い、小職から当会が作成した地域住民向け「医師の働き方改革」の短編動画を紹介した。9月の委員会では、大学医師会への取り組みや医師会の組織強化について報告があり、日医が新たに作成した入会勧奨のためのスライドが紹介された。

3) 地域医療対策委員会 [8月21日(月)、10月4日(水)・Web併用] について (青木常任理事)

8月の委員会では、沖縄県医師会・大屋祐輔常任理事（琉球大学病院長）から「医師の地域偏在・診療科偏在と地域枠制度」について講演後、各委員から各県における地域枠の現状と課題を説明し、意見交換を行った。10月の委員会では、厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室・谷口倫子室長から「第8次医療計画における在宅医療の体制整備」および「外来機能報告制度と紹介受診重点医療機関」について説明後、各委員会から自県における在宅医療圏の設定規模や在宅医療に積極的に取り組む医療機関等の進捗状況、紹介受診重点医療機関数などについて報告し、意見交換を行った。

4) 男女共同参画委員会 [8月25日(金)] について (寺本常任理事)

令和7年度の第19回男女共同参画フォーラムは、福島県医師会が担当することになった。日医女性医師支援センターの実情調査である「50代医師の将来のキャリアプランに関する調査」について議論後、会長諮問に関するフ

リートークキングを行った。

5) 病院委員会 [9月6日(水)] について (佐古副会長)

沖縄県医師会・田名毅副会長から、5月8日以降に広がった新型コロナウイルス感染症第9波の状況および県内の救急医療提供体制の問題点などについて、大阪府私立病院協会会長・生野弘道委員から、大阪府の新型コロナウイルス感染症検証報告ならびに今後の取り組みについて説明があり、意見交換を行った後、会長諮問について協議した。

6) 母子保健検討委員会 [9月7日(木)] について (寺本常任理事)

日本産婦人科医会・相良洋子常務理事から、「周産期メンタルヘルスケアの現状と課題～日本産婦人科医会周産期メンタルヘルスに関する事業の経験から～」について講演があり、子どもや妊産婦の死亡事例、周産期メンタルヘルスの重要性などの説明があった。また、令和5年度母子保健講習会について検討後、会長諮問に対する答申について意見交換を行った。

7) 学校保健委員会 [9月13日(水)] について (荒木常任理事)

答申作成に向けて、各委員が分担執筆した原稿案について内容を確認後、小委員会で作成に取り組んでいる書籍「学校医のすゝめ」の進捗状況について報告があった。また、令和6年度学校保健講習会について意見交換を行った。

8) 健康食品安全対策委員会 [9月13日(水)] について (滝山理事)

健康食品安全情報システム事業に情報提供された健康被害例について審議後、会長諮問に関する意見交換を行った。日医、日本歯科医師会、日本薬剤師会が監修した健康食品に関する書籍「ナチュラルメディスン・データベース—日本対応版—」について紹介後、保健機能食品の実態や効果的な利用法の伝達、問題点について説明があった。

9) 医療関係者検討委員会 [9月15日(金)] について (水谷常任理事)

各委員から提出された資料の説明後、審議では看護職志望者を増やすための広報活動について検討し、会長諮問に対する骨子案について意見交換を行った。その後、これまでの意見を取りまとめ、各委員が分担して答申書を執筆分担する。

10) 外国人医療対策委員会 [9月22日(金)・Web併用] について (伊藤常任理事)

外国人に対する日本の医療情報の提供や日本人医療従事者への外国人医療に関する情報

提供および診療時の無料電話・遠隔通訳などを行っている、AMDA国際医療情報センターの活動状況、日医が開設した外国人患者向け医療ポータルサイト等について説明があり、会長諮問に関する意見交換を行った。

11) 未来医師会ビジョン委員会 [9月23日(土)・Web会議] について (佐賀委員)

9月に作成した委員会中間報告に基づき、若手医師が医師会に期待するもの、期待に添えるために何が必要かなどについて議論し、海外留学や専門医制度に関わっていくこと、広報の重要性に関する意見があった。

12) 地域包括ケア推進委員会 [9月28日(木)] について (菅田常任理事)

中央情勢報告において、社会保障審議会介護給付費分科会や介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会等について報告された。その後、答申とりまとめに向け、骨子案について意見交換を行った。

13) 有床診療所委員会 [10月5日(木)] について (鈴木副会長)

「有床診療所の日」記念講演会等について説明後、会長諮問に係る最終答申作成に向けて協議を行った。

14) 警察活動等への協力業務検討委員会 [10月5日(木)] について (鈴木副会長)

都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会(仮称)」の正式名称が、都道府県医師会「警察活動協力医会」に決定し、活動内容について意見交換が行われた。その後、事務局より、連絡協議会・学術大会の開催日時案等、今後のスケジュール説明があった。

4. 承認事項

(1) 外部各委員会等委員の推薦について

(目黒常任理事)

NPO法人クラーク会顧問に松家会長、北海道薬剤師確保対策検討会構成員に佐古副会長を推薦することと承認決定。

(2) 社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦について (伊藤常任理事)

委員として1名を推薦することと承認決定。

5. 協議事項

第1号 令和5年度北海道医師会表彰に関する件

(目黒常任理事)

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員173名、本会役員・代議員を通算15年以上の会員7名、特別表彰として郡市医師会長2名、A会員の病院・診療所・老人保健施設従業員446名、国立等医療施設従業員137名、医師会職員7名の合計772名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者として承認決定。

第2号 理事提案事項

特になし。

6. 道総医協関連事項 (藤原副会長)

令和5年度第4回理事会(令和5年8月19日)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

第16回常任理事会

日時 令和5年10月24日(火) 18:00~19:17

場所 北海道医師会館・9階理事会室

出席者 松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・高橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問

(事務局：三瓶事務局長ほか13名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定および更新に関する件 (目黒常任理事)

新規申請者3名、更新申請者1名、施設変更申請者1名を指定医師とすることと決定。また、10月末日をもって指定期間満了となる対象者244名のうち14名の指定辞退、1名の再審査保留を除いた229名を対象とし審議した結果、更新要件を満たしている226名を再指定することと決定。

第2号 母体保護法指定医師研修機関の更新に関する件 (目黒常任理事)

指定要件を満たした指定医師研修機関38件を次期研修機関として指定することとし、指定資格者数が未充足の1件は、申請承認まで更新保留することと決定。

第3号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (村上常任理事)

認定要件を満たした新規申請者29名と更新申請者160名を承認し、日医へ申請することと決定。

第4号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (三戸常任理事)

認定要件を満たした更新14名の申請を承認し、日医へ申請することと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (高橋常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座5件を承認することと決定。

第6号 第2回郡市医師会長協議会[11月12日(日)・Web併用]の議題に関する件 (目黒常任理事)

11月12日(日)午前10時30分から当会館で開催する第2回郡市医師会長協議会の提出議題について、「医師会の組織強化」「北海道医療計画の策定について」とすることと決定。

第7号 その他

(1) 11・12月行事予定に関する件 (事務局)

報告事項

1. 第2回勤務医部会運営委員会・若手医師専門委員会 [10月15日(日)・Web併用] について

(水谷常任理事)

標記両委員会を合同開催した。勤務医部会の部長に小樽市医師会・和田卓郎部会員が、若手医師専門委員会の委員長に北見医師会・橋口仁喜委員が会長指名により就任した。続いて、和田部会長から「地域医療現況調査」の結果が報告され、各運営委員が分担・執筆することとした。また、若手医師専門委員会の活動方針について協議し、最後に、12月10日(日)に開催する全体会議のプログラムについて確認した。

2. 医師キャリアサポート相談窓口コーディネーター連絡会 [10月15日(日)・Web併用] について (長谷部常任理事)

昨年度の北海道補助金事業、育児・復職研修支援・無料職業紹介事業の実績等について報告後、今年度の相談窓口関係事業等の実施計画等について協議し、意見交換を行った。

3. 医師キャリアサポート相談窓口利用者との懇談会 [10月15日(日)・Web併用] について

(長谷部常任理事)

相談窓口利用者相互の交流・情報交換ならびに要望を聴く機会として、Web併用で開催した。小職から組織強化について話題提供後、ワークショップ「あなたは今、何に困っていますか？」をテーマに利用者、コーディネーターの立場から現状や経験などについてディスカッションを行い、全体共有・フリートークを実施した。出席者は21名(うちWeb参加3名)であった。

4. 第2回都道府県医師会会長会議 [10月17日(火)・日医会館] について (松家会長)

「トリプル改定について」をテーマに、当会が属さないEグループ(8医師会)が議論した。その後、同テーマに対する日医への質問が行われ、当会からは、次期診療報酬改定においては「医療介護の連携」に対して医療側・介護側両方に報酬面で評価すること、医師の働き方改革に対応する医療機関の費用面での負担軽減、コロナ対応で苦労された医療機関が安定的な経営ができる診療報酬体系を要望した。

5. 食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会 [10月17日(火)・深川市] について (三戸常任理事)

学校における食物アレルギー対策に係る知識を深め、児童への対応をより実践的で実効性のあるものにするを目的に、医療従事者や学校・幼稚園・保育園の教職員等と対象に開催した。小職および北空知乳幼児保健協議会・津田尚也会長から挨拶後、「食物アレルギーとアナフィラキシー」をテーマに、KKR札幌医療センター小児・アレルギーリウマチセンター・小林一郎センター長から講演があり、練習用トレーナーを用いたエピペンの実技講習も行わ

れた。参加者は150名であった。

6. 第31回日本慢性期医療学会 [10月19日(木)～20日(金)・大阪府] について (藤原副会長)

医療法人財団慈強会松山リハビリテーション病院・木戸保秀理事長を学会長に「超少子高齢化時代と慢性期医療～Well Beingを目指した予防という役割～」をテーマに開催された。厚生労働省保険局医療課・眞鍋馨課長、厚生労働省老健局老人保健課・古元重和課長、日医・江澤常任理事、日本慢性期医療協会・橋本康子会長より、「慢性期医療から診療報酬・介護報酬の同時改定に迫る」をテーマに記念シンポジウムが行われた。そのほか、慢性期医療に関する講演や一般演題が行われ、参加者は約1,700名であった。今回は、来年11月14日(木)～15日(金)にパシフィコ横浜(神奈川県)で開催予定。

7. 第44回産業保健活動推進全国会議 [10月19日(木)・Web会議] について (高橋常任理事)

全国4か所の産業保健総合支援センターから、産業保健総合支援事業に関する活動事例報告があり、北海道産業保健総合支援センターからは、事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインの認知度調査の結果報告があった。その後、「化学物質の自律的管理における産業医に必要な知識」をテーマとしたシンポジウムならびに事前に寄せられた質問について意見交換を行った。

8. 北海道地域医療構想調整会議協議会(通算4回) [10月22日(日)] について (荒木常任理事)

都道府県単位の地域医療構想調整会議協議会として、北海道との共催によりWeb併用で開催した。地域医療構想アドバイザー4名の紹介後、次期北海道医療計画の策定までのスケジュールや5疾病6事業の指針の概要などについて説明があった。次に各構想区域から重点課題の概要や検討経過、今後の取組予定などについて報告を受け、意見交換を行い、医療機能の集約化や地域枠制度、医療DXなどに関する質問が出された。出席者は各地域医療構想調整会議議長や関係都市医師会役員、保健所長など約120名であった。

9. 外部各委員会報告

(1) 第3回自衛隊艦艇等を活用した災害医療活動訓練企画委員会 [10月13日(金)・Web会議] について (白崎常任理事)

大規模災害における自衛隊艦艇等を活用した災害医療活動のフィージビリティに関して検証を行うため、10月30日(月)に有明の丘基幹的広域防災拠点施設(東京都)において図上訓練を開催する旨説明があった。訓練は日本海溝・千島海溝等周辺海溝型地震の千島海溝モデルを用いて、釧路沖洋上において海上自衛隊補給艦「おうみ」にヘリコプターより入院患者を受け入れて被災地外の港まで長距離搬送するという想定で、訓練内容を協議した。

(2) 第4回北海道新興・再興感染症等対策専門会議医療体制専門部会 [10月13日(金)] について (三戸常任理事)

感染症法に基づく医療措置協定の締結協議に向けた事前調査結果について概要の報告後、次期北海道感染症予防計画の素案について協議した。また、各保健所設置市における感染症予防計画の素案について説明があった。

(3) 第2回北海道薬剤師確保対策検討会 [10月13日(金)] について (佐古副会長)

道内における将来にわたっての薬剤師確保策、偏在解消策および薬剤師の役割を協議・検討することを目的に設置された本検討会に第2回から参画することとなった。前回の検討会で質問があった道内市町村における薬剤師確保のための奨学金制度の詳細や、三師統計調査における薬剤師届出情報の集計結果などについて説明があった。その後、次期北海道医療計画における薬剤師確保の記載内容ならびに、今後実施予定の道内の病院・診療所および薬局を対象に薬剤師の就業実態に係るアンケート調査内容について協議した。

(4) 北海道公衆衛生協会第2回常任理事会・理事会 [10月13日(金)] について (藤原副会長)

今年度の学会に係る開催計画・予算案および来年度の学会長について確認後、昨年度の収支決算について報告があった。また、来年度の事業計画および収支予算案について協議した。

(5) 「北海道健康づくり支援薬局」認定制度運営協議会 [10月16日(月)・Web併用] について (藤原副会長)

現在認定を受けている北海道健康づくり支援薬局を確認し、今般、新規・更新申請のあった薬局について審査し、認定した。

(6) 北海道がん対策推進委員会第2回がん検診専門部会 [10月18日(水)・Web併用] について (伊藤常任理事)

次期北海道がん対策推進計画素案(たたき台)について説明があり、協議を行った。がんの1次予防について、たばこ対策として北海道受動喫煙防止条例の取り組みを追記することなどが了承された。

(7) 第6回北海道新興・再興感染症等対策専門会議 [10月19日(木)] について (三戸常任理事)

感染症法に基づく医療措置協定の締結協議に向けた事前調査結果について概要の報告後、専門部会での協議内容を踏まえ、次期北海道感染症予防計画の素案について協議した。

(8) 第4回北海道感染症対策連携協議会 [10月23日(月)] について (三戸常任理事)

感染症法に基づく医療措置協定の締結協議に向けた事前調査結果について概要の報告後、専

門会議での協議内容を踏まえ、次期北海道感染症予防計画の素案について協議した。本計画の素案については、各委員からの意見を整理した後、来月の定例道議会で示される予定。

道総医協関連事項 (藤原副会長)

1. 地域医療専門委員会第4回周産期・小児医療検討委員会 [10月11日(水)・Web会議] について (寺本常任理事)

次期北海道医療計画の素案(案)について、素案(たたき台)から修正・追記した項目などの説明があり、協議後、今後の本計画策定スケジュールについて確認した。

2. 地域医療専門委員会第3回看護対策小委員会 [10月11日(水)] について (水谷常任理事)

委員会への主な意見と対応状況について報告後、次期北海道医療計画における看護職員の目標値や、看護職員確保対策等の素案について意見交換を行った。

3. 地域保健専門委員会第2回糖尿病対策小委員会 (第2回慢性腎臓病対策連絡会議) [10月12日(木)・Web会議] について (藤原副会長)

前回の委員会でのたたき台の意見を踏まえ、次期北海道医療計画における慢性腎臓病領域の素案について協議が行われた。本計画の素案については、各委員からの意見を整理した後、来年1月開催予定の本小委員会において検討する。

4. 地域保健専門委員会第2回糖尿病対策小委員会 [10月12日(木)・Web会議] について (藤原副会長)

前回の委員会でのたたき台の意見を踏まえ、次期北海道医療計画における糖尿病領域の素案について協議が行われた。本計画の素案については、各委員からの意見を整理した後、来年1月開催予定の本小委員会において検討する。

5. 地域医療専門委員会第3回在宅医療小委員会 [10月13日(金)] について (伊藤常任理事)

次期北海道医療計画(在宅医療の提供体制)の素案(案)が示され、在宅栄養指導、口腔ケア体制、高度な薬学管理等が可能な薬局の充実など、素案(たたき台)からの修正および追記した項目について協議した。そのほか、在宅医療において「積極的役割を担う医療機関」および「必要な連携を担う拠点」の選定対象、選定要件を整理した。

6. 地域保健専門委員会第2回循環器疾患対策小委員会 [10月16日(月)] について (水谷常任理事)

次期北海道循環器病対策推進計画の素案(案)について、各委員からの意見を整理後、次期北海道医療計画の素案(案)に係る脳卒中の医療連携体制、心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制、地域連携クリティカルパスの普及について協議した。

7. 第4回救急医療専門委員会 [10月16日(月)・Web会議] について (鈴木副会長)

次期北海道医療計画の素案（案）について、救急医療、災害医療、小児医療の項目ごとに修正点を確認し協議を行った。また、「札幌圏域江別地区における病院群輪番制病院の設置」について、江別市から3医療機関の追加申請があり、10月1日に承認済みであると報告があった。

北海道医師会ホームページ→医師の皆さまへ→会員専用メニュー→会員優待サービス



（ご利用にはユーザー名・パスワードによるログインが必要です。）

<http://www.hokkaido.med.or.jp/>

会員優待サービスのご案内

北海道医師会では、福利厚生事業の一環として会員限定の優待サービスを行っています。

割引価格で提供されていますので、ホームページをご覧ください。



ホテル予約

出張時の宿泊予約、
家族旅行の宿泊に…



ショッピング

ご自宅用・出産祝い
等のギフトに…



お引越し

国内・海外への
お引越し



8月よりスタート

イベント

ミュージカル・演奏会、
野球観戦、
ストレス発散に…



北海道医師会 育児サポート事業のご案内

病児・病後児の預り時に、 ぜひご利用ください！

北海道医師会が利用料金の一部を負担する、会員限定の利用券での支払いが可能です。



子育て中の医師の仕事と家庭を
両立するためのサポートです。



お問い合わせ先

一般社団法人 北海道医師会 事業第二課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 FAX 011-231-7272

TEL 011-231-7300 E-mail josei-dr-shien@m.doui.jp